

業績目録 (平成 27 年)

教室・部門名 基礎老化学

(A-a) 英文著書

(A-b) 和文著書

(B-a) 英文総説

(B-b) 和文総説

(C-a) 英文原著

- 1 Watanabe Y, Tsujimura A, Aoki M, Taguchi K, Tanaka M. Development of the 5HT_{2C}R-Tango System Combined with an EGFP Reporter Gene. J Mol Neurosci 58: 162-169, 2016. (IF=2.151)
- 2 ○Shirahase T, Aoki M, Watanabe R, Watanabe Y, Tanaka M. Increased alcohol consumption in relaxin-3 deficient male mice. Neurosci Lett 612: 155-160, 2016. (IF=2.033)

(C-b) 和文原著

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

田中雅樹. α -シヌクレインの凝集・分解機構. 第 10 回 Neuroscience Seminar in Kyoto, Aug 29, Kyoto.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 田中雅樹. α -シヌクレイン研究とセロトニン 2 C 受容体研究. 京都府立医科大学附属脳血管系老化研究センター研究発表会 (京都府立医科大学大学院特別講義) June 24, Kyoto.
- 2 田中雅樹. 認知症と生活習慣病. 向日市市制記念式典 市民健康講座 シンポジウム「アンチエイジング」、Oct 10, 向日市

Ⅲ) 国際学会における一般発表

- 1 Yoshimoto K, Watanabe Y, Tanaka M, Yamaguchi T, Ueda S, Hiraga Y, Nagao M, Ochi K. Habitual alcohol drinking behavior associated with active ghrelin and serotonin neurons in the amygdala and lateral hypothalamus. 28TH ECNP CONGRESS Amsterdam, 2015 Aug 29-Sep 1: Netherlands.

(E) 研究助成 (競争的研究助成金)

総額 830 万円

公的助成

代表 (総額)・小計 760 万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B) 平成 24~28 年度
「5-HT_{2C} 受容体の RNA 編集によるストレス・情動調節機構の機能形態学的研究」 助成金額 300 万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金若手研究 (B) 平成 26~27 年度
「レヴィ小体 *in vivo* 再現モデルを用いた神経変性伝播経路の解析」
助成金額 150 万円
- 3 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 27~29 年度
「 α シヌクレイン凝集体形成とリソファジーを標的とする病態伝播と神経細胞死の回避」 助成金額 190 万円
- 4 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 27~29 年度
「p62 のリン酸化による α -synuclein オートファジー分解制御の解析」 助成金額 120 万円

分担・小計 70 万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B) 平成 24~27 年度
「視床下部ペプチドー扁桃モノアミン神経性協調動態からみた習慣飲酒形成の機序解明」 助成金額 10 万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 27~29 年度
「パーキンソン病の神経障害性 α -シヌクレインオリゴマーの同定と分子標的治療への応用」 助成金額 30 万円
- 3 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 25~28 年度
「transendocytosis 障害による脳小血管病発症機序の解明と治療法開発」
助成金額 30 万円